

かわごえ

②武州川肥城主松平大和守齊典公御  
嫡子紀五郎殿初メテ登城之図

年次不詳

原寸 縦 16cm×横 600cm、旧前橋藩士豊田家に伝わった絵巻です。第4代川越藩主（当時前橋は川越の分領）<sup>まつだいらなりのり</sup>松平齊典の養子<sup>きごろうなりさだ</sup>紀五郎齊省が嫡子として江戸城に初登城した様子を描いています。

松平紀五郎は、11代將軍徳川家斉の25男で、文政10（1827）年に松平齊典の養子<sup>なおあつ</sup>となり、第3代藩主松平直温娘<sup>せいし</sup>を正室にしました。世子<sup>せいにん</sup>（跡継ぎ）として天保6（1835）年に叙任<sup>かどく</sup>されましたが、家督を継ぐことなく、天保12（1841）年に19歳で死去しています。

豊田芳郎家文書 P08107 No. 1

